



FUKUI 2024

第
47
回

全国育樹祭

育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地



ふくいの
森林・林業

県土の特徴



本県は、日本海側のほぼ中央に位置し、東西約70km、南北約130kmにおよび17市町に約74万人が暮らしています。

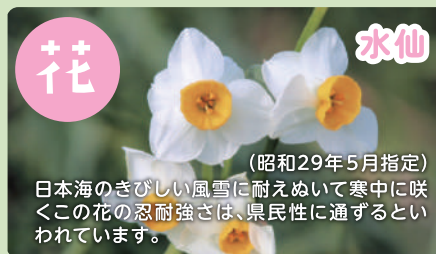
県内には「白山国立公園」や「奥越高原県立自然公園」などの緑豊かな山々、「越前加賀海岸国定公園」と「若狭湾国定公園」に指定された風光明媚な海岸、湿潤な気候が育む豊富で良質な水資源など、豊かな自然環境に恵まれています。

県中央部に位置する木の芽峠などを結ぶ山陵を境に、南越前町から以北の嶺北地域と敦賀市から以南の嶺南地域に区分されます。

嶺北地域は、九頭竜川などからの土砂の堆積による福井平野を中心に越美山地、白山山地などから形成されています。

嶺南地域は変化に富むリアス式海岸が続き、沈水から免れた山地と沈水した入江、湾が交互に並列し、その奥には沈水地の堆積によって敦賀などの小平野が形づくられています。

福井県のシンボル



ふくいの森林の現状

森林面積

福井県の森林面積は、約31万haで、県の総面積の約75%を占めています。全国平均の約67%と比較し、**森林の占める割合が高いのが特徴です。**

県土の森林面積は
約31万ha

全国 **30位**
(令和5年3月時点)

本県の森林率は
約75%

全国 **11位**
(令和5年3月時点)

本県の人工林率は
約40%

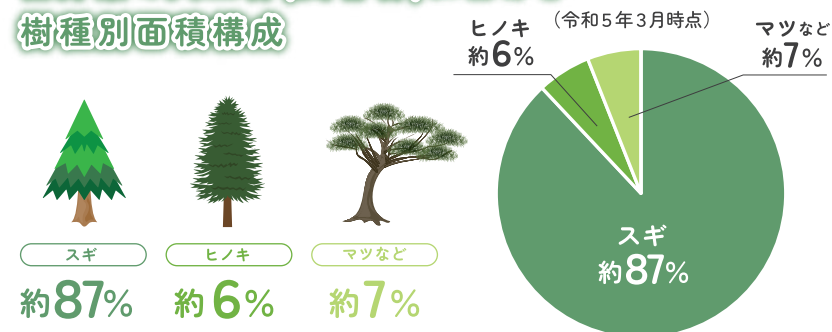
全国 **33位**
(令和4年3月時点)

福井県を見渡してみると
山がたくさんあるね！



環境省自然環境局発行の自然環境情報GIS(第2版)に
収録されている現存植生図GISデータより
(自然保護センターHPより引用)

福井県の人工林(民有林)における 樹種別面積構成

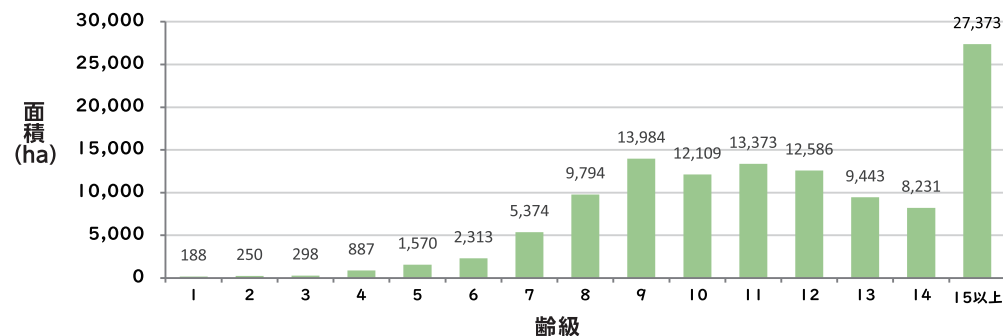


利用期を迎える人工林

福井県の約12万haにおよぶ人工林は、間伐の必要な人工林(3～12 齢級*)が6割を占めており、柱などに利用可能な**人工林(10 齢級以上)**が全体の7割まで増えています。

*齢級: 樹木を年齢で区分することであり、1～5年生を1 齢級、6～10年生を2 齢級・・・とします。

福井県の人工林(民有林)における齢級配置 (令和5年3月時点)



Fukui Forest Design

福井県の森林は県の面積の約75%を占めます。このうちの県では「**大きな林業**」と「**小さな林業**」を組み合わせた

大きな林業 ～ふくい型林業経営モデル～

伐って植えて育て、また伐り植える。そんな資源の循環を活かせる森林で林業を経営する「**大きな林業**」を進めています。

ふくい型林業経営モデルの展開



森林所有者と林業事業体が、主伐・再造林から保育まで10年程度の長期一括契約をむすび、効率的な主伐による収益を還元する「ふくい型林業経営モデル」を県内に展開しています。

コンテナ苗の生産力強化

<コンテナ苗>



<生育の様子>



再造林コストの低減に必要なコンテナ苗を安定して供給するため、施設整備への支援等を通じて、新規参入の促進や既生産者の生産環境を整えるなど、苗木生産体制の強化を推進しています。

約40%は昭和40年～50年代ごろに造林された人工林で、住宅部材として利用できるほど大きく育っています。
取り組みを「**Fukui Forest Design**」と称して推進し、儲ける林業・稼げる林業と山村地域の活性化を目指しています。

小さな林業 ～自伐型林業～

少人数で少しずつ伐採・搬出をする「**自伐型林業**」は、集落に近い山林や傾斜が急な場所でも適しています。大型の機械が不要なため容易に参入しやすく、また、自分の生活スタイルに合わせた働き方ができるため、副業など他にやりたいことをやりながら働く「**半林半X**」という柔軟な働き方が可能です。福井県では山村地域の活性化に向けた取り組みとして、「**小さな林業**」を推進していきます。

自伐型林業大学校の開校



- 令和5年4月18日：自伐型林業大学校が開校
(主催：(一社)ふくい自伐型林業協会)
- 全国各地から37名が受講(令和5年度実績)

福井県の自伐型林業への支援

① 自伐型林業を目指す方への移住者給付金や生活給付金

- ・引っ越し等準備への支援
- ・技術取得期間(3年間)の生活支援



② 自伐型林業団体の研修・技術指導等への支援

- 【新規参入者向け】
- ・自伐型林業大学校の運営支援
- 【既存団体向け】
- ・技能向上研修の開催支援



③ 地域おこし協力隊の採用

- ・儲かる半林半Xモデルの実践
- ・県内自伐型林業団体等の活動サポートなど



④ 自伐型林業と併せて行う副業支援等



ふくいの森林・林業基本計画

令和2年度～
令和6年度（5年間）

基本計画では、情勢の変化や将来の環境変化を踏まえ、本県の森林・林業・木材産業が今後5年間に展開していく方向性を示し、基本理念である「**育てる林業から、儲ける林業・稼げる林業**」の実現を目指しています。

目指すべき 森林の姿

県内の民有林を、木材の持続的な生産を目的とした「**資源循環の森**」と、森林の多面的機能の発揮を主目的とした「**環境保全の森**」に**区分け**し、それぞれに応じた森林整備を推進します。

森を活かす プロジェクト

間伐材積

H30 12万m³ → R6 16万m³

主伐材積

H30 7万m³ → R6 9万m³



木を活かす プロジェクト

県産材需要量

A材 H30 5万m³ → R6 6万m³

B材 H30 3万m³ → R6 8万m³

C材 H30 11万m³ → R6 11万m³

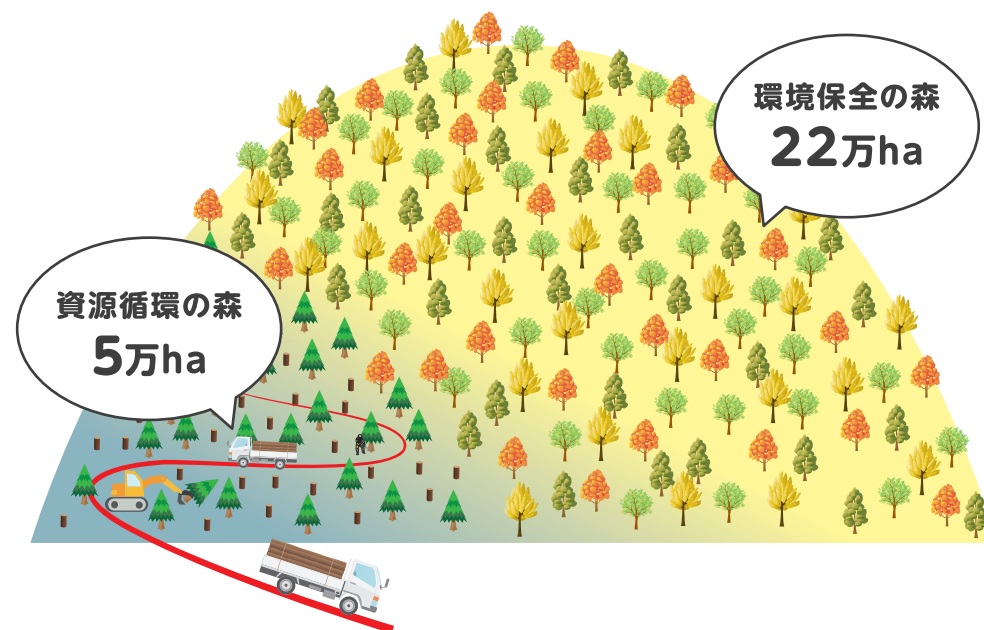


森に親しみ 森を守る プロジェクト

新たな森林活用
に取り組む団体の増加



民有林 27万ha

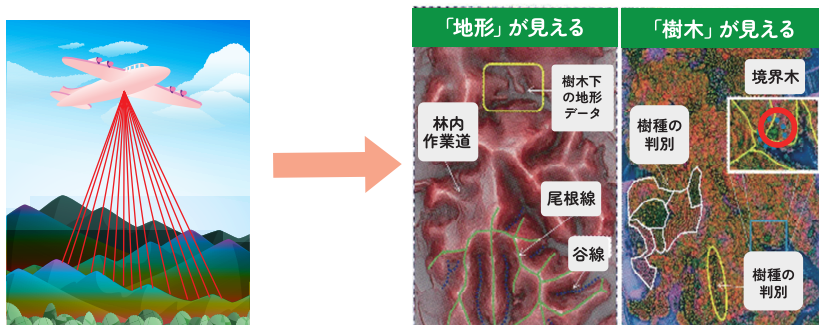


林業DXの推進

「**儲ける林業・稼げる林業**」の実現に向け、森林資源や地形情報をデジタル化し、林業の効率化や省力化を図る「**林業DX**」を進めていくとともに、データを活用して森林資源の保全と管理を行っています。

航空レーザ計測による森林資源などのデジタル化

木の種類や本数などの資源や地形の詳細なデータを把握することで、収益性が高いエリアを選定し、現地調査や境界確認立会の省力化を図ることにより森林整備を推進しています。



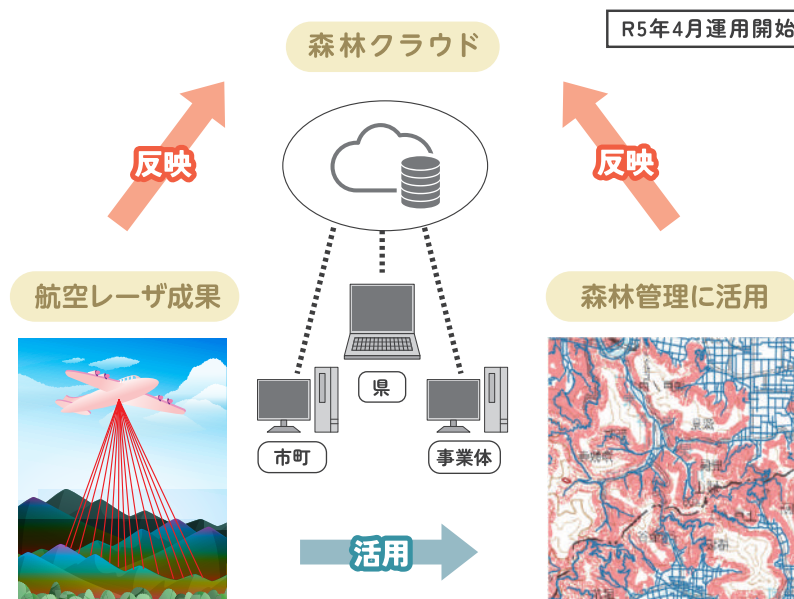
データを活用した森林資源の保全と管理

県民衛星「すいせん」のデータを用いて、森林内における開発行為を監視し、森林資源の保全と管理を行っています。



森林クラウドシステムの導入

航空レーザ計測により得られたデジタル情報は、県が管理する「森林クラウドシステム」に集約し、一元管理しています。このデータを県、市町、林業事業体で共有・相互利用し、各地域における効率的な森林管理に役立てています。



担い手の確保・育成

県内外の就業相談会、林業体験会や**ふくい林業カレッジ**のオープンキャンパスの開催、林業PR動画やガイドブックを作成するなど、新規林業従事者の確保に努めています。

ふくい林業カレッジにおける人材の育成だけでなく、林業経営力の向上に向けた研修や機械整備等の支援を行うなど、林業事業体の**スキルアップ**にも取り組んでいます。

ふくい林業カレッジ



座学



高性能林業機械 実習



林業機械シミュレータ



伐倒 実習

紹介HPは
コチラ！



林業PR動画



紹介HPは
コチラ！



ガイドブック



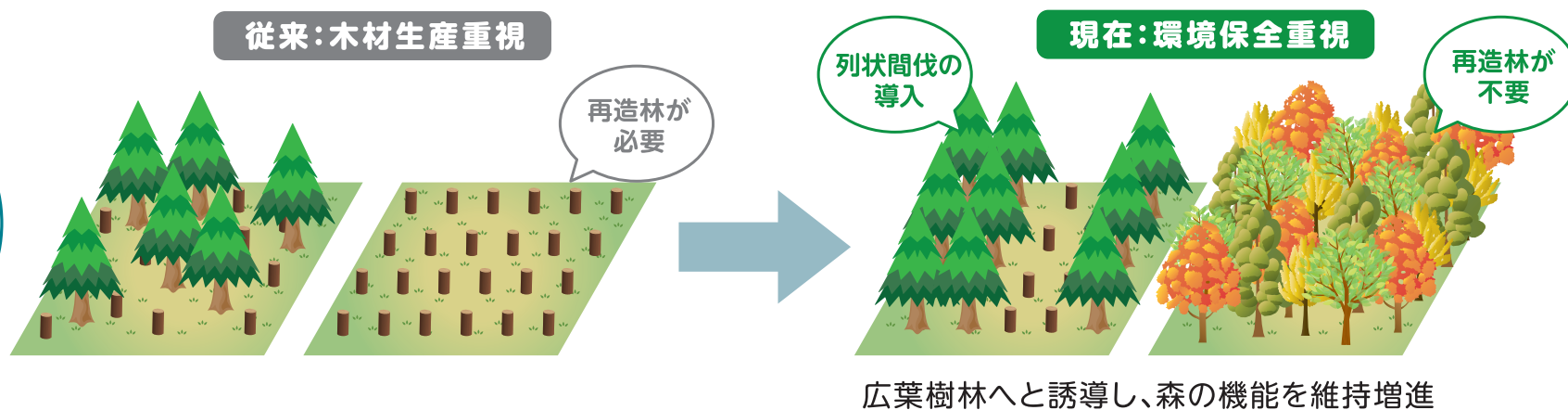
紹介HPは
コチラ！



県有林における環境保全重視の森づくり

県有林では、列状に間伐を行う施業を実施しています。林内の光環境を改善することで、**広葉樹**の侵入を促し、手入れが不要な天然林に戻す「**環境保全**」を重視した森づくりを進めています。

県有林の 施業方法



列状間伐の 実施状況



県産材の利用

本県では、公共施設の**木造・木質化**を進めるとともに、県建築士事務所協会や県インテリアコーディネーター協会などの連携のもと、企業における県産材利用を推進する「**ふくいウッドチャレンジ推進ネットワーク**」を令和4年に立ち上げ、木造建築や木質空間の提案などに対応できる無料相談窓口を設置し、民間施設での**県産材の利用**を推進しています。

県産材を活用した施設等の紹介

公 共

木造・
木質化



県立大学あわらキャンパス教育棟

木質化



一乗谷朝倉氏遺跡博物館

民 間

木造化



倉庫兼事務所

木質化



レンタカー会社

木製品



事務機器会社

木造化



住宅会社

木質化



福井駅前商業施設

ふくい県産材製品カタログ ～「hirameki」～

県では、オフィスや店舗、住居で県産材を使ってもらうため、活用事例や製品などを紹介する県産材製品カタログ「hirameki」をWEBで公開していますので、ぜひご覧ください！

紹介HPはコチラ！→



みんなでつかおう「ふくいの木」運動

本県では、**ふくいの木**の積極的な利用を進めるため、みんなでつかおう「ふくいの木」促進条例を定めており、県民が木に親しみ触れ合い、ふくいの木の良いことや利用する意義等についての理解を深めるため、建築士・大工、幼児教育を学ぶ大学生等と連携し、様々な活動を展開しています。

木づかい機会の創出



木づかい塾

小学生を対象に木を使う意義や仕事を伝える



木づかいキャラバン

親子を対象にショッピングセンターや公民館等で木づかいの機会を提供



木づかい体験会

幼児等を対象に幼稚園等で木の玩具を使用した授業の開催

「フクモクフェス」の開催！

(ふくいの木の魅力を発信するための体験型イベント)

開催 毎年秋

場所 サンドーム福井メインホール(越前市瓜生町)

内容 ・木とのふれあい、遊び、体験ができる「木のおもちゃ博エリア」
・工務店や企業の出展などの「ふくいの木に住まい博エリア」

大人も子供も
楽しめる
イベントです！

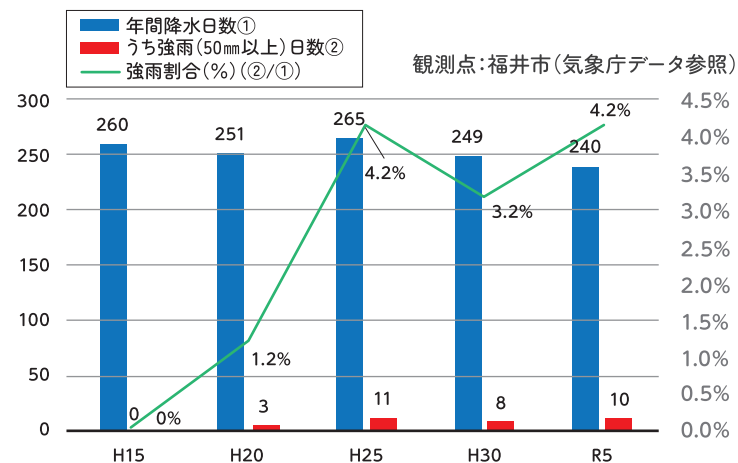


開催の様子(令和5年10月)

山地災害から暮らしを守る治山事業

近年、大雨や短時間強雨の発生頻度が年々高くなってきており、県内各地で**山崩れや土石流**などの山地災害が多発化・激甚化しています。このため、被災地域の早期復旧を図るとともに、被害の未然防止に向けて**治山ダム**などの**ハード整備**や、防災意識の向上に向けた**ソフト対策**、**新たな技術**を活用した事業計画作成などを行っています。

近年の年間降水日数と強雨日数の推移



年間の降水日数は横ばいだが、強雨日(50mm/日)の割合は増加傾向

ソフト対策

避難体制の確立や防災意識啓発のため区長等を対象に研修会を開催



新たな技術の活用

航空レーザ測量の詳細な地形データを活用し、効率的に事業計画を作成



ハード整備(治山施設)



ふくいの特用林産物

本県では、きのこ類などの地域特性に根ざした多様な里山の利用が生業として継承されており、大型で肉厚な原木しいたけ「**香福茸(こうふくだけ)**」や「**九頭竜まいたけ**」、福井オリジナルきのこ「**越前カンタケ**」などのきのこ類のほか、**研磨炭**や**熊川葛**、**越前オウレン**など全国に誇る**特用林産物**の生産が行われています。

福井県の高付加価値化(ブランド化)きのこ

香福茸



紹介HPはコチラ!



【美食福井】
香福茸

九頭竜まいたけ



紹介HPはコチラ!



【美食福井】
九頭竜まいたけ

越前カンタケ



昭和62年に福井県池田町で発見された野生のヒラタケを組織培養し品種登録されたきのこです。

福井県の伝統的特用林産物

研磨炭



平成27年度
林業遺産認定

漆器の表面研磨などに不可欠な研磨炭の、伝統的な生産技術を継承する唯一の事例で、漆工芸品・金属加工品の製作に無くてはならない研磨用品です。

熊川葛



平成27年度
林業遺産認定

江戸時代から現在まで変わらぬ製法により、技術と品質を現在に引き継いでいます。熊川葛はくず湯や葛まんじゅうとして親しまれています。

越前オウレン



平成26年度
林業遺産認定

高標高地の林床を利用した薬用植物として、希少な栽培地と栽培技術を有し、整腸薬など多くの漢方薬に配合されています。

緑と花の県民運動

森林や自然の恵み、自然の厳しさを再認識するとともに、福井の元気な森林づくりや美しく誇りの持てる元気なふるさとづくりを行い、未来へ引き継いでいくために、**緑と花の県民運動**として、**3つの運動**を展開しています。

緑と花のふるさとをつくる運動



ワクワク花苗引渡式



花いっぱい推進員の活動



小中学生ワクワク
花づくりサポート事業など

元気な森をつくる運動



企業の森協定式



桜の植樹



企業の森づくり活動など

自然を知り伝える運動



朝倉トレイルラン



森の学習



ふくいSatoyamaトレイルなど

総合グリーンセンター

総合グリーンセンターは、約20haの広さを持ち、緑や花を楽しみながら親しみ、学ぶことができる総合的な公園施設です。

POINT
01

園内には約1,000種類、約75,000本の樹木が植栽されており、ドーム型展示温室・噴水・芝生の広場・緑の相談所・ウッドリームフクイ・ウッドハウス九頭竜・ふれあい広場・大型遊具等が整備されています。

POINT
02

施設内には研究機関もあり、森づくり・森林保護・特用林産・木材利用などに関する研究に取り組んでいます。

施設の紹介

ウッドリームフクイ



DIY教室や
木工体験などもできます！



DIY教室の様子

シンボルの施設で、展示コーナーや休憩のできるホール、公園が一望できる展望台があります。

研究の紹介



林木の成長量等を示す収穫表の
改定に係る調査研究



成長等が優れている特定苗木の
性能評価試験



県産木材の実大強度試験



ふくい生まれの
「極上マイタケ」の開発



一乗谷朝倉氏遺跡



コンテナ苗



福井県緑の少年団活動発表大会



国民参加の森づくりシンポジウム

FUKUI 2024
第47回 **全国育樹祭**
育てよう 幸せ芽吹く 緑の大地



記念育樹行事



おもてなし花壇お披露目式



馬借街道



年縞博物館

発刊 令和6年10月

発行 第47回全国育樹祭福井県実行委員会・(公社)福井県緑化推進委員会

～このパンフレットは緑と水の森林ファンドを使用しています～